

令和1年度 自己評価結果

いさお幼稚園【幼保連携型認定こども園】

本園の教育目標

進んで物事をやり、友達と仲良くし、
豊かな心をもったたくましい子どもに育てる。

本園が目指す幼児像

- ◎ 一人ひとりに愛情あふれる保育を
- ◎ 集団生活の中で望ましい態度を
- ◎ 豊かな情緒と思考力の芽生え
- ◎ 最後までやりぬく強い心を

本年度重点的に取り組む目標、計画

安全教育の徹底と基本的生活習慣の形成
教員研修の継続的実践と資質の向上を図る
幼少連携活動を積極的に行い小学校への移行がスムーズに行えるようにする。

評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
保育の計画性	乳児から幼児の段階を踏まえた接続を考慮した指導計画を見直した。
保育のあり方 子どもへの対応	園児の体調の変化、怪我などについては担任のみで判断することなく、主任、または副園長に報告し的確な判断と対応に努めた。
研修及び 資質能力の向上	専任講師（体操）による実技指導研修を行い職員一人ひとりの指導技術の向上を図った。 新採用の保育教諭には、特に新任研修と位置付けて丁寧な研修を実施した。（心肺蘇生法）
保護者への対応	個々の関りを大切にし、家庭環境の把握や置かれている状況を理解し、その子どもや保護者に支援をした。 個人懇談を定期的実施するとともに、行事などのアンケートを実施し、保護者の声やニーズの把握に努め園の考え方を示し改善すべきものはできるだけ改善した。

今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
健康、安全、 衛生	日々の子どもの健康状態の把握に努め、家庭との連携を密にする。 新型コロナウイルスなどの感染防止の取り組みの際は、メールやプリントで分かりやすく丁寧な連絡をする。 怪我については、園庭に出て他人と衝突したり、持っているものが他人に当たったりして起こることが多いことから、周りをよく見たり、小さい園児に気をつけて遊ぶなどの意識をもてるよう指導していく。
教育時間の充 実	1号、2号、3号の子どもの教育・保育時間の把握をし、「教育時間外」の活動をより具体的に計画に入れ、きめ細かい配慮のもと保育していく。 そのためにも職員同士の連携、情報の伝達体制を整える。
行事内容	現在の社会情勢や保護者の現状を踏まえ、幼保連携型認定こども園として必要な行事やその持ち方を変えていくことも大切だと考える（運動会、発表会など）